

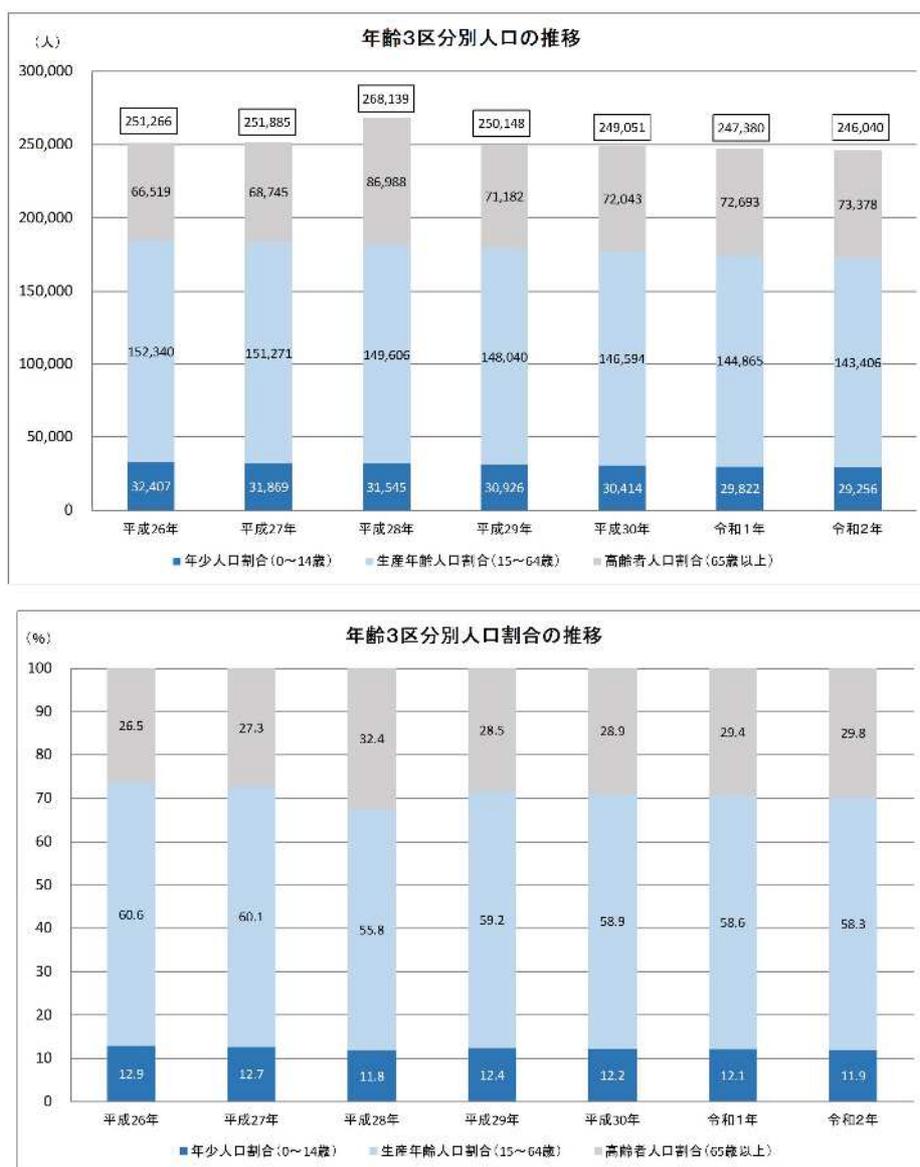
資料編

1. 本市の特性及び自転車を取り巻く現状

1-1 人口の推計・推移

(1) 人口の推計・推移

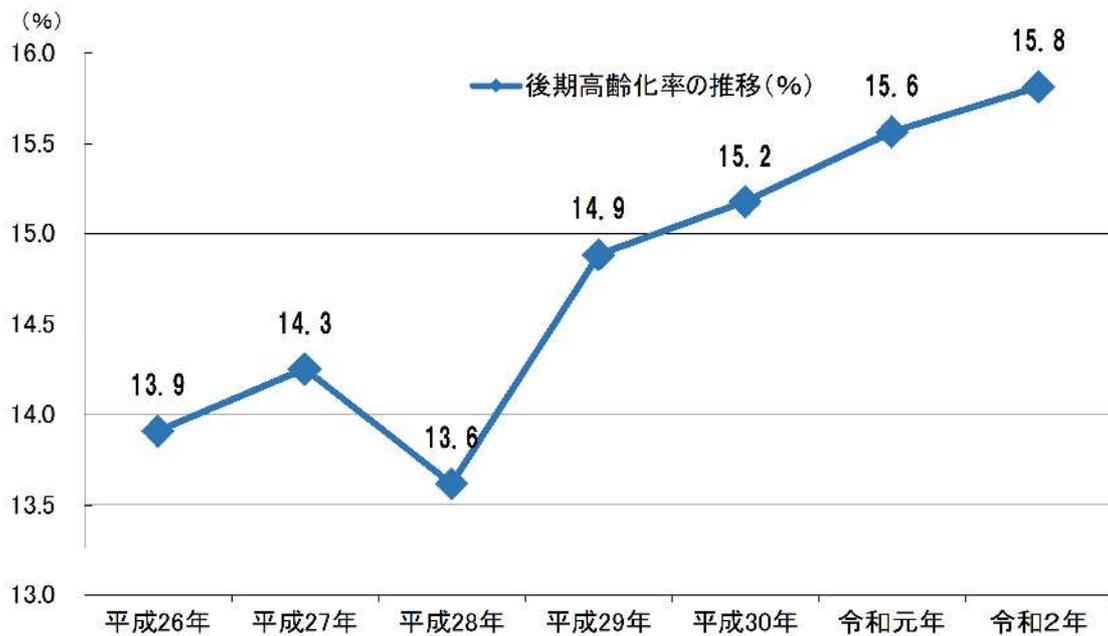
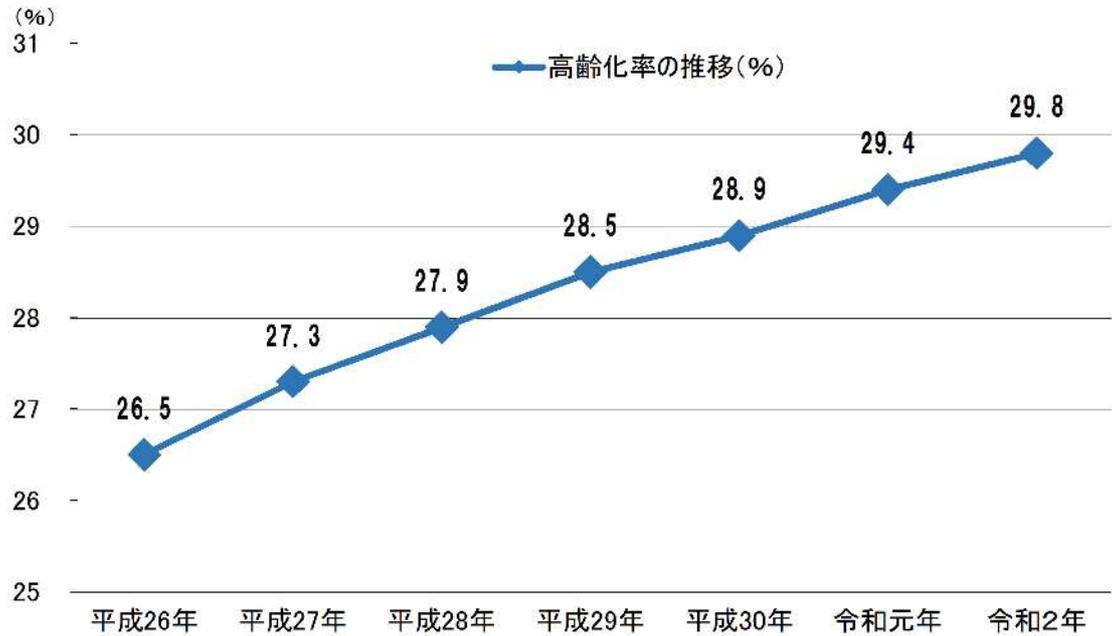
本市の人口は、令和2年現在で約24万6千人であり、平成28年をピークに緩やかに減少している。年齢構成比をみると、令和2年までに年少人口が減少する一方で、65歳以上の割合は年々増加傾向にあり、約30%近くとなっている。



出典：国勢調査：「山形県の人口と世帯数（推計）」

(2) 高齢化の推移

本市の高齢化率は、令和2年現在で約30%であり、年々増加傾向にあります。また、後期高齢化率も同様に高い状況にあります。



(3) 医療費の推移

本市の一人当たりの医療費は 2019 年で約 400 千円であり、年々増加傾向にあります。

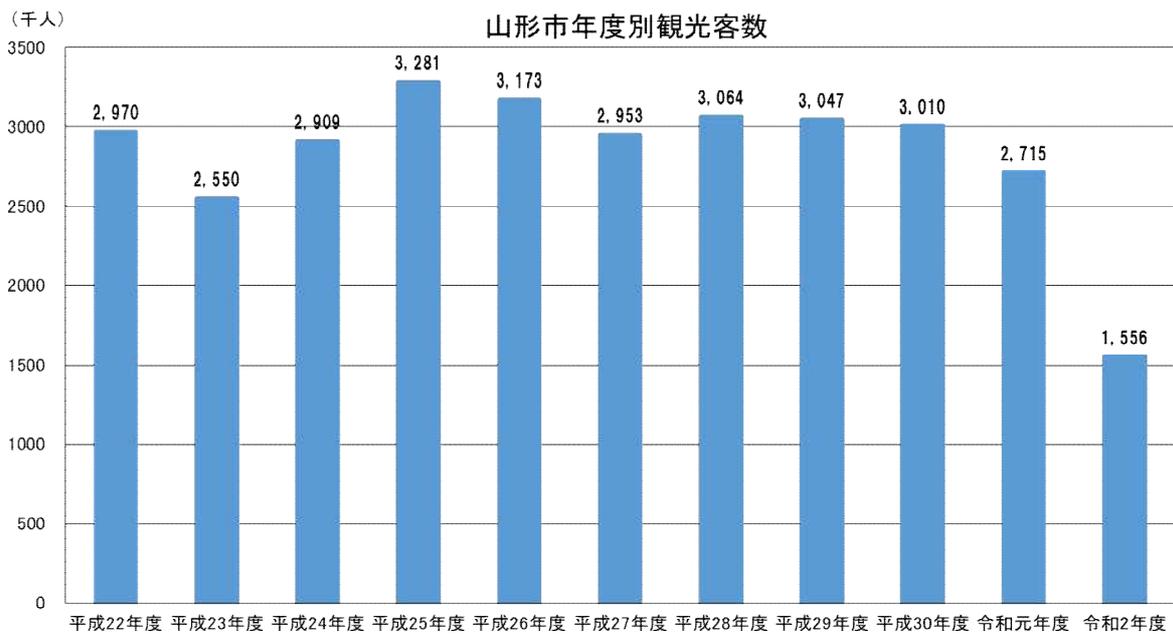
今後の高齢社会の進展による影響を踏まえて、医療費の抑制に向けた市民一人ひとりの健康増進のための意識の醸成とそれを促す各種施策の充実が必要となります。



(4) 観光入込客等の状況

山形市への観光客入込数は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響で平成23年度に落ち込みが見られたものの、平成23年度から平成25年度にかけて増加傾向に転じている。その後、平成27年4月から6月にかけて発表された蔵王山の火口周辺警報により、平成27年度はやや入込数が落ち込んだものの、平成28年度には回復の動きが見られている。令和元年度からは新型コロナウイルスの影響で入込数に落ち込みが見始められ、令和2年度には平常時の約半分まで落ち込みが見られた。

個別の観光地では、蔵王においてはスキー場利用客の減少傾向が続いていることから微減傾向となっていることや、山寺においては平成25年に立石寺の御開帳が実施されたため大きな伸びが見られたものの、全般的に横ばい傾向が続いている。一方、市街地においては山形まるごと館紅の蔵、山形まなび館、七日町御殿堰などで微増傾向が続いている。



出典：山形市観光戦略課

1-2 通学路の指定状況

山形市の通学路の指定状況は下図の通りである。

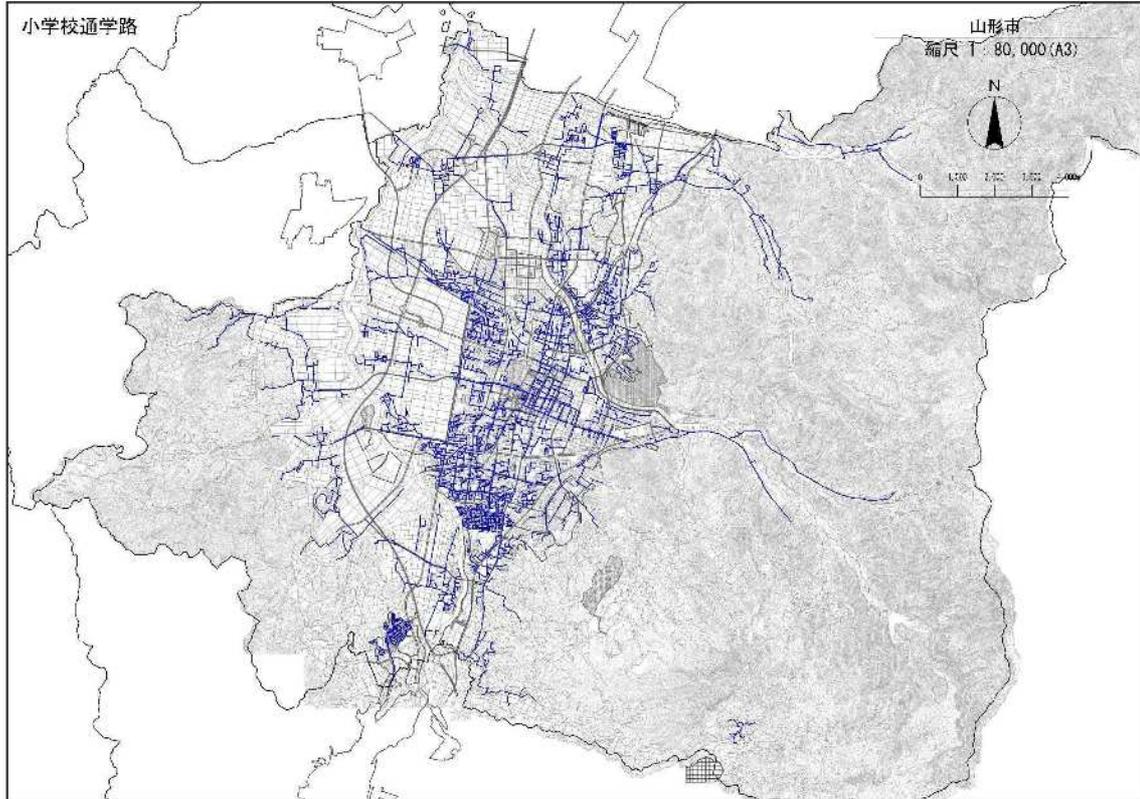


図-1 小学校通学路

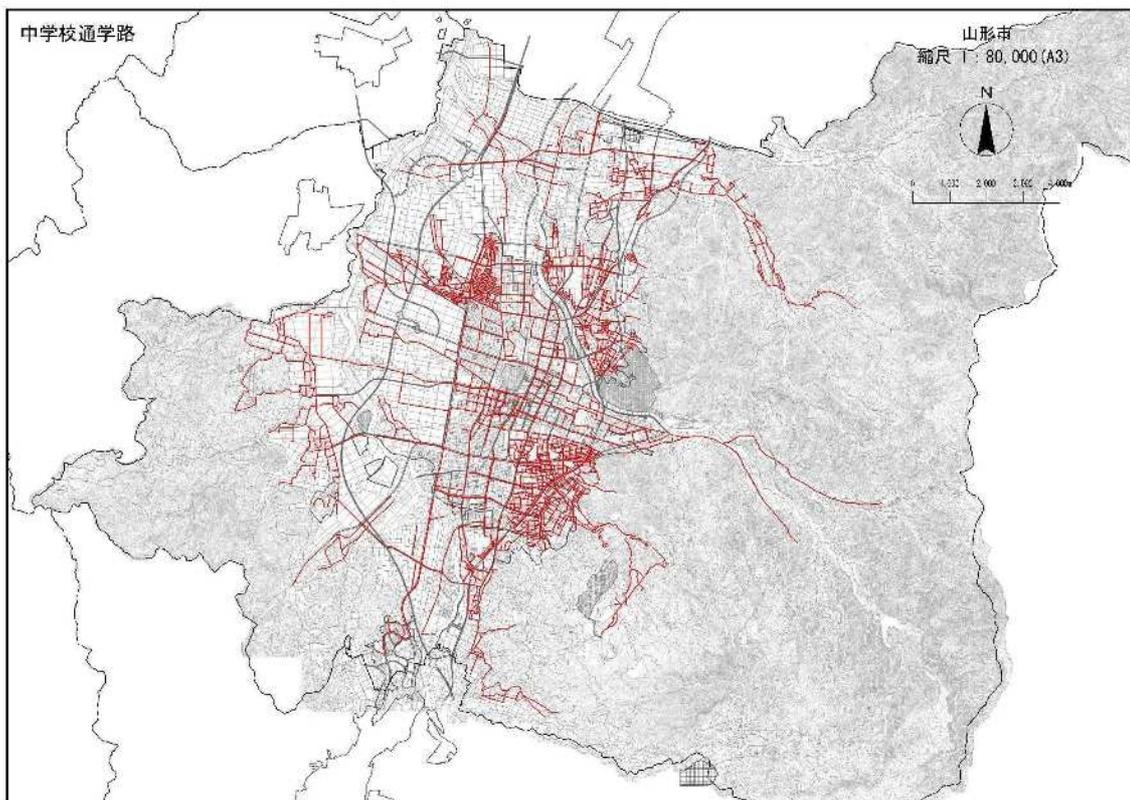


図-2 中学校通学路

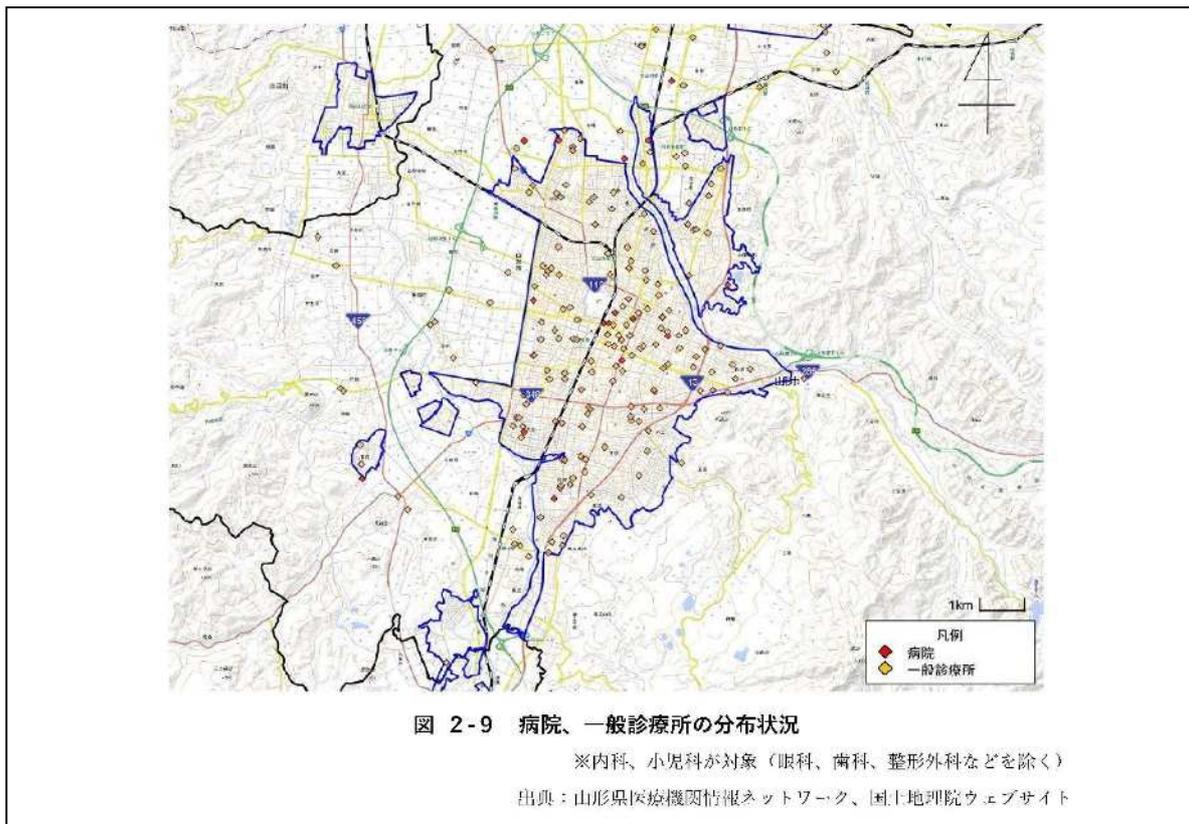
小・中学校のうち、自転車通学を許可している学校は、下表の通りである。

小・中学校自転車通学調査表

	自転車通学許可	摘要
第一中学校	●	許可区域：七日町二丁目・本町二丁目・十日町二丁目・防原・滑川・滑川住宅
第二中学校	●	学区外の生徒で、通学距離が3.5km以上
第三中学校	●	徒歩による通学が困難な者という条件を基準として、宮浦地区から通学する生徒に限る
第四中学校	—	
第五中学校	—	
第六中学校	●	・学区外遠距離通学生徒（片道6km以上） ・けがによって歩行が困難な場合（通院者） ・その他（部活動等で外部会場における練習や試合等で自転車を使用する場合）
第七中学校	●	半径2.5km以遠の通学生
第八中学校	●	・遠距離 ・民家が少なく防犯上必要である場合 ・ケガなどのために徒歩通学が無理な場合
第九中学校	●	・許可区域：黒沢（温泉街入口交差点より南）・前明石・百目鬼・菅沢・飯森・湯田・西向・漆房・隔間場・赤禿・みどりの丘すげさわ・上山市山元・みはらしの丘・学区外（3km以上） ・通学距離が3km未満であるが学校長が必要と認めた場合
第十中学校	—	
金井中学校	—	
高楯中学校	●	・許可区域：下蔦の木から上・切畑・休石・青柳（13号バイパスの西側） ・防犯面で心配な地区および生徒については、範囲以外でも認める。
蔵王第一中学校	●	通学距離3km以上または、自宅からバス停まで遠い場合
蔵王第二中学校	—	
山形大学附属中学校	●	通学距離3km以上

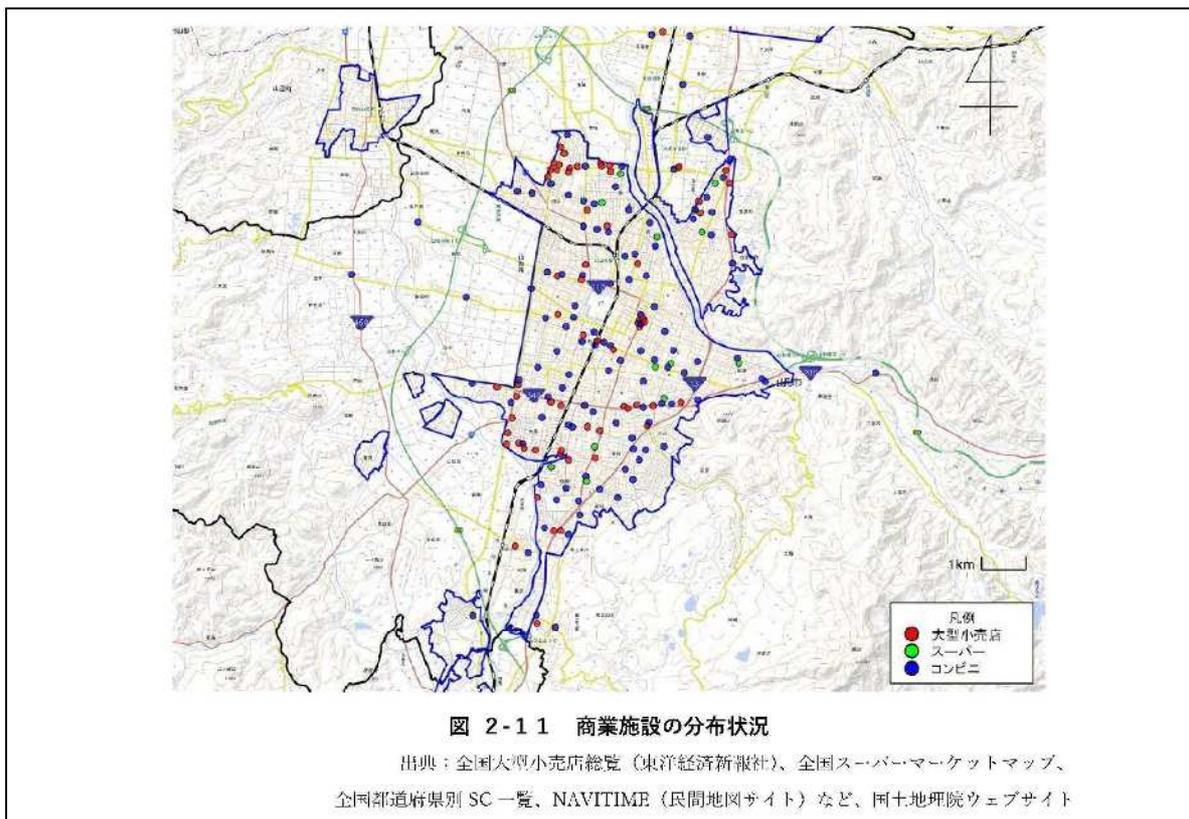
1-3 地域資源

(1) 病院、一般診療所の立地状況



出典：山形市立地適正化計画

(2) 商業施設の立地状況



出典：山形市立地適正化計画

(3) 公共公益施設（各学校含む）の立地状況

a) 教育関連施設

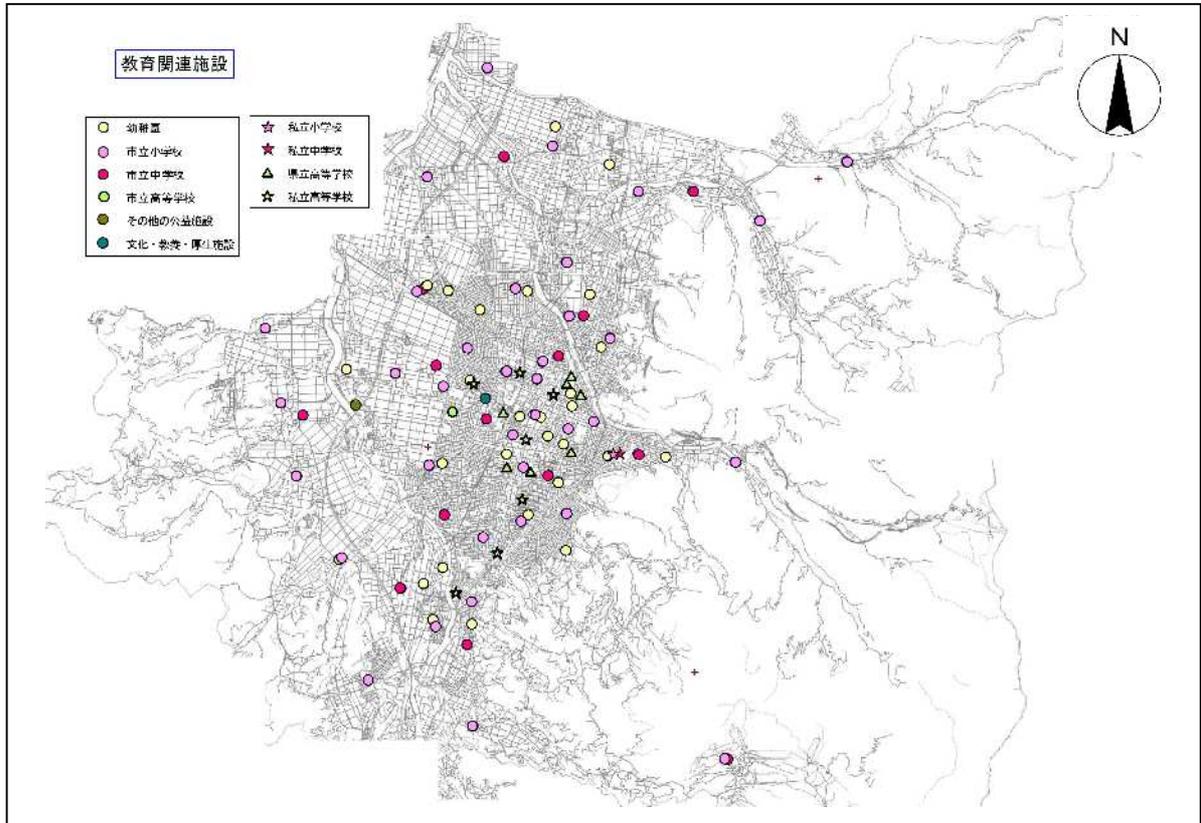


図-3 教育関連施設配置図

b) 子育て支援施設

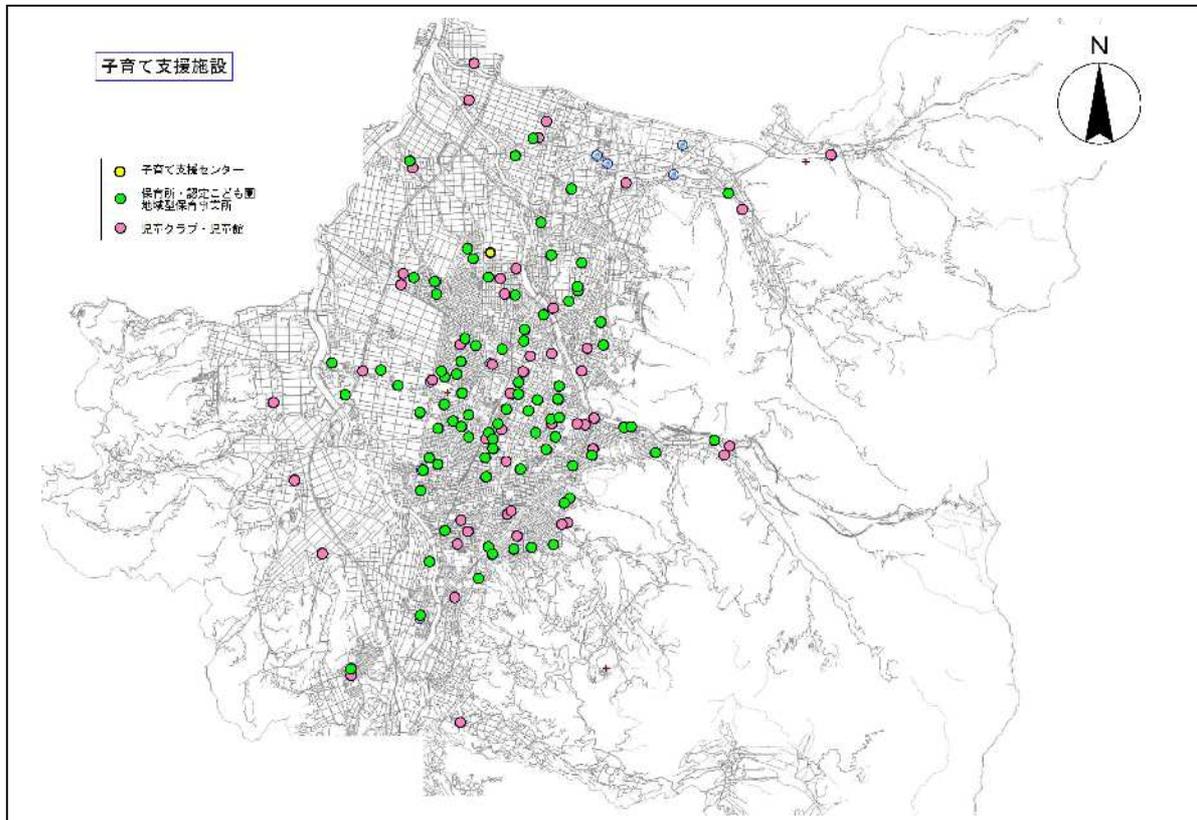


図-4 子育て支援施設配置図

c) 文化・スポーツ関連施設

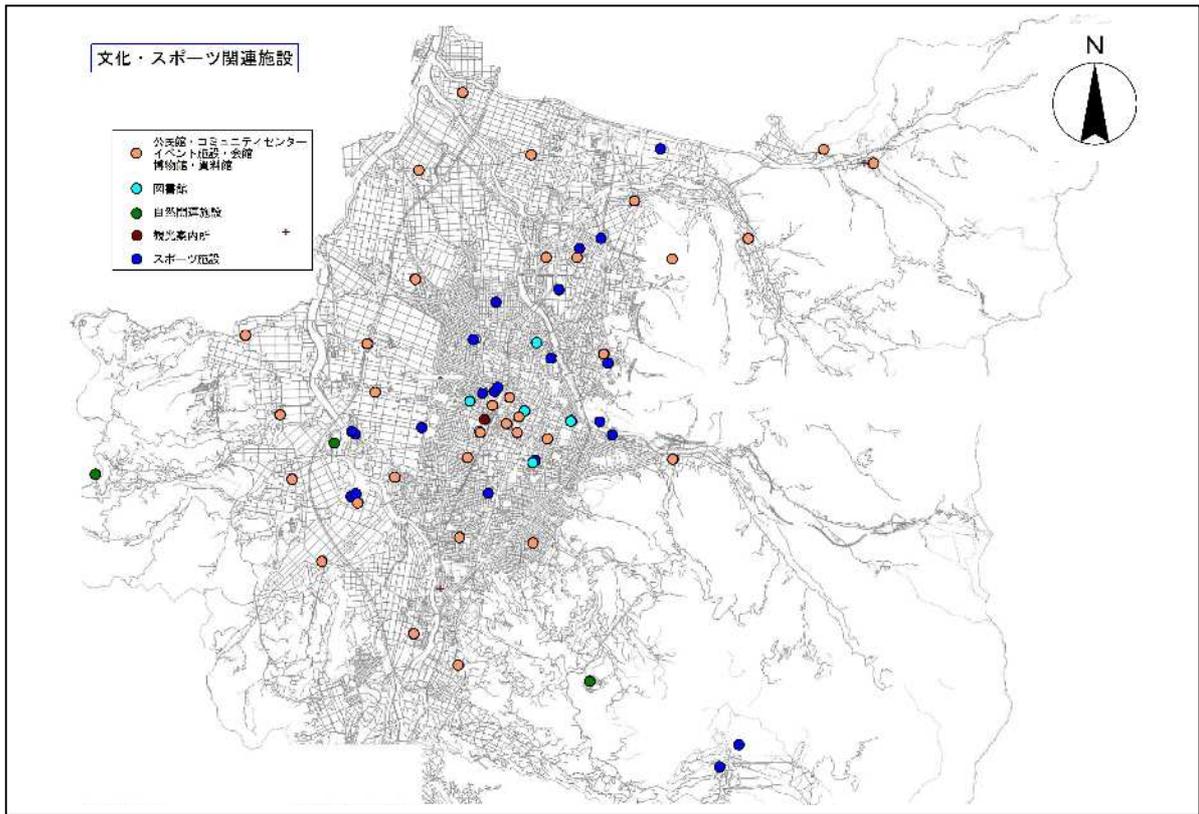


図-5 文化・スポーツ施設配置図

2. 市民アンケート調査

(1) 調査の概要

1) 実施期間

発送：令和3年4月12日（月） ～ 投函期限：4月30日（金）

2) 調査対象者

調査対象：住民基本台帳登録市民（15～79歳）のうち無作為抽出1,500人

3) 調査票の配布・回収方法

配布：郵送配布

回収：郵送回収

4) 回収票数

発送票数：1,500票

回収票数：602票 回収率：40.1%

(2) 調査結果（単純集計）

*四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合があります。

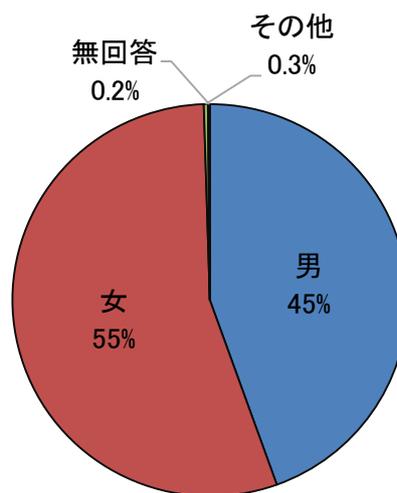
【問1】アンケートの回答者について

1) 性別について

・性別は、「男」が45%、「女」が55%となっている。

(単位:人)

選択項目	人数
男	268
女	331
その他	2
無回答	1
計	602

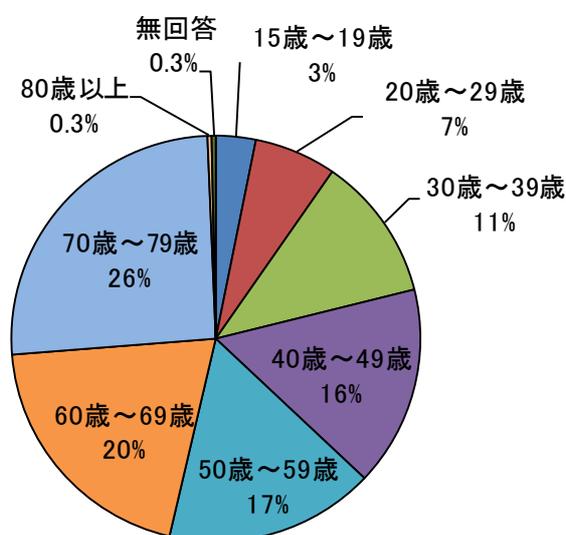


2) 年齢について

・年齢構成は、「70～79歳」が26%と最も多く、次いで、「60～69歳」が20%となっている。

(単位:人)

選択項目	人数
15歳～19歳	19
20歳～29歳	39
30歳～39歳	69
40歳～49歳	96
50歳～59歳	100
60歳～69歳	121
70歳～79歳	154
80歳以上	2
無回答	2
計	602

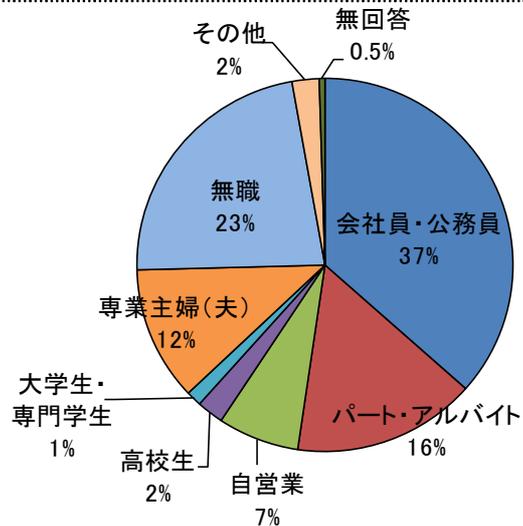


3) 職業について

・職業は、「会社員・公務員」が 37%と最も多く、次いで「無職」が 23%となっている。

(単位:人)

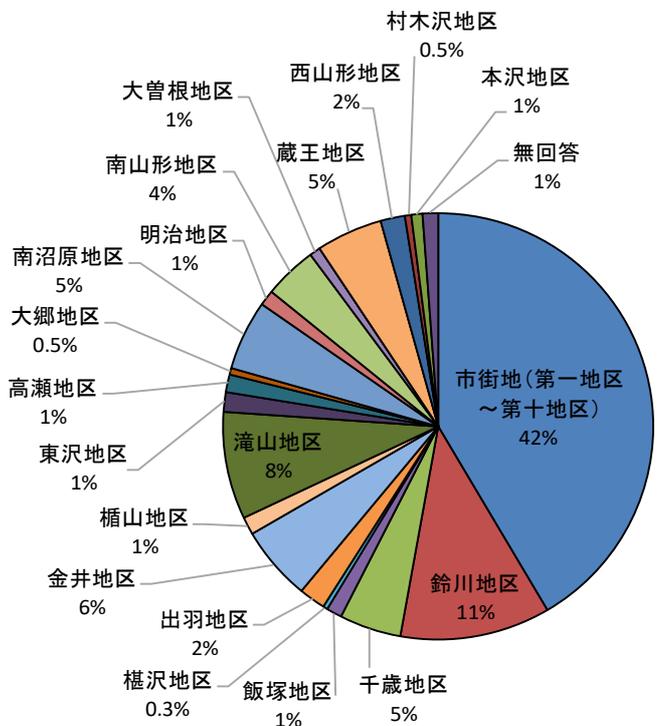
選択項目	人数
会社員・公務員	220
パート・アルバイト	95
自営業	42
高校生	14
大学生・専門学生	8
専業主婦(夫)	70
無職	136
その他	14
無回答	3
計	602



4) 居住地区について

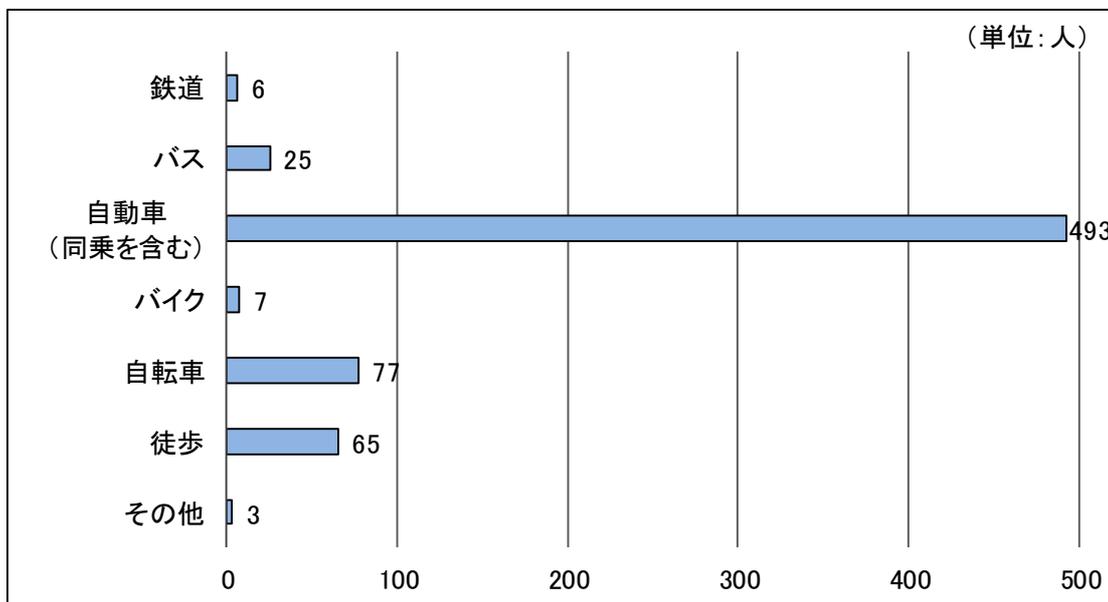
・居住区域は、「市街地(第一地区～第十地区)」が 42%と最も多く、次いで「鈴川地区」が 11%となっている。

選択項目	人数
市街地(第一地区～第十地区)	250
鈴川地区	68
千歳地区	28
飯塚地区	7
榎沢地区	2
出羽地区	12
金井地区	34
楯山地区	8
滝山地区	49
東沢地区	9
高瀬地区	8
大郷地区	3
南沼原地区	32
明治地区	7
南山形地区	24
大曽根地区	5
山寺地区	0
蔵王地区	30
西山形地区	11
村木沢地区	3
本沢地区	5
無回答	7
計	602



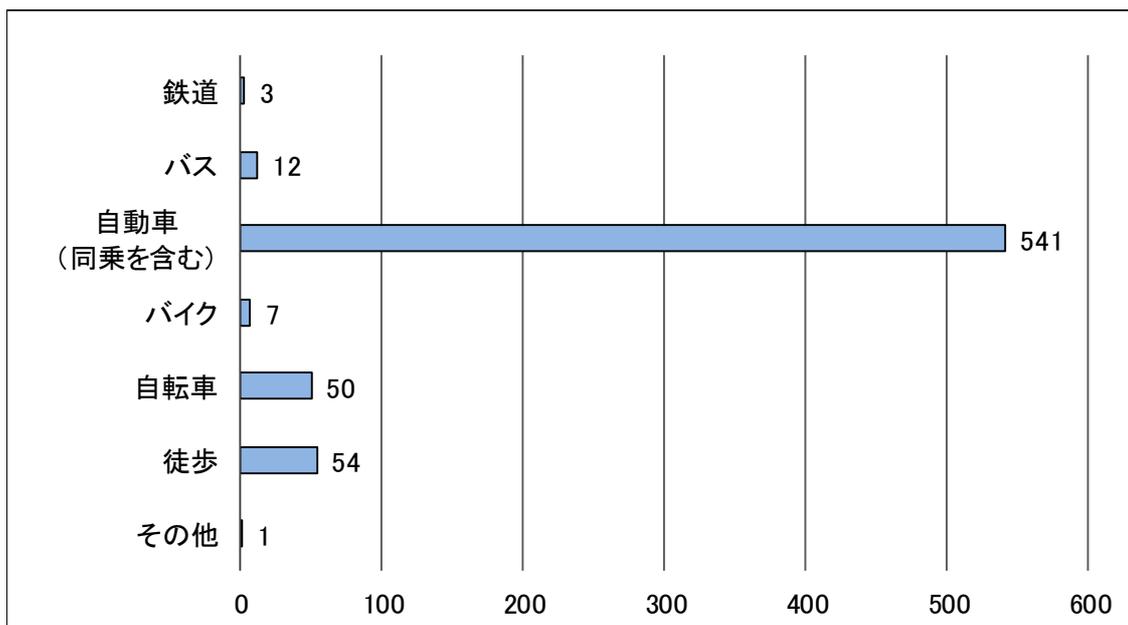
5) 主な交通手段（平日）について

・主な交通手段（平日）は、「自動車（同乗を含む）」が 493 人と最も多く、次いで「自転車」が 77 人となっている。



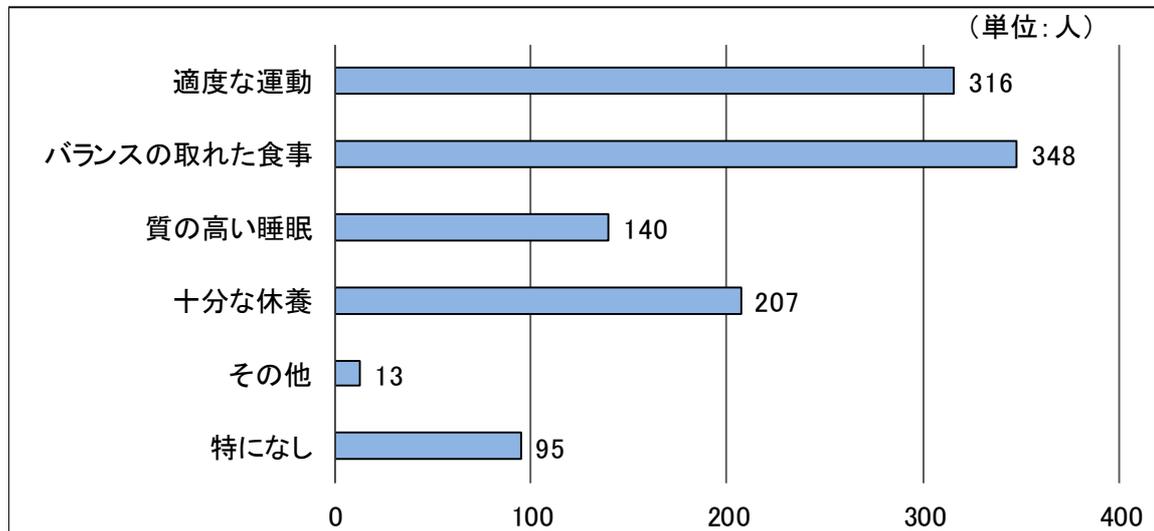
6) 主な交通手段（休日）について

・主な交通手段（休日）は、「自動車（同乗を含む）」が 541 人と最も多く、次いで「徒歩」が 54 人となっている。



【問2】健康のために心がけていることについて（※複数回答可）

・健康のために心がけていることは、「バランスの取れた食事」が348人と最も多く、次いで「適度な運動」が316人となっている。

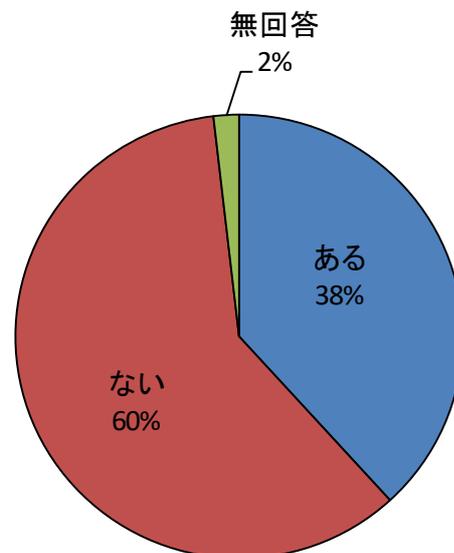


【問3】運動習慣について

・運動習慣については、「ある」が38%、「ない」が60%と半数以上となっている。

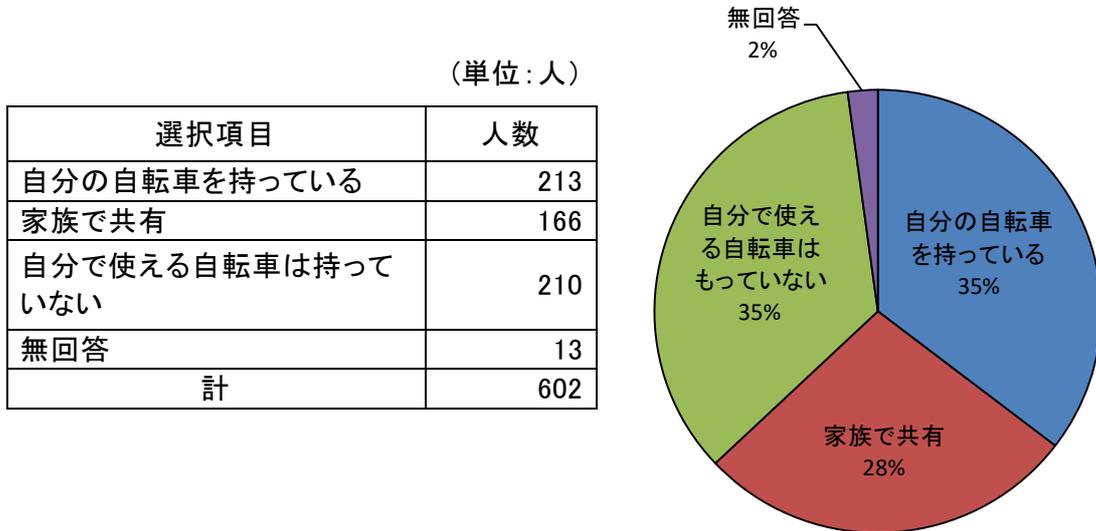
(単位:人)

選択項目	人数
ある	230
ない	361
無回答	11
計	602

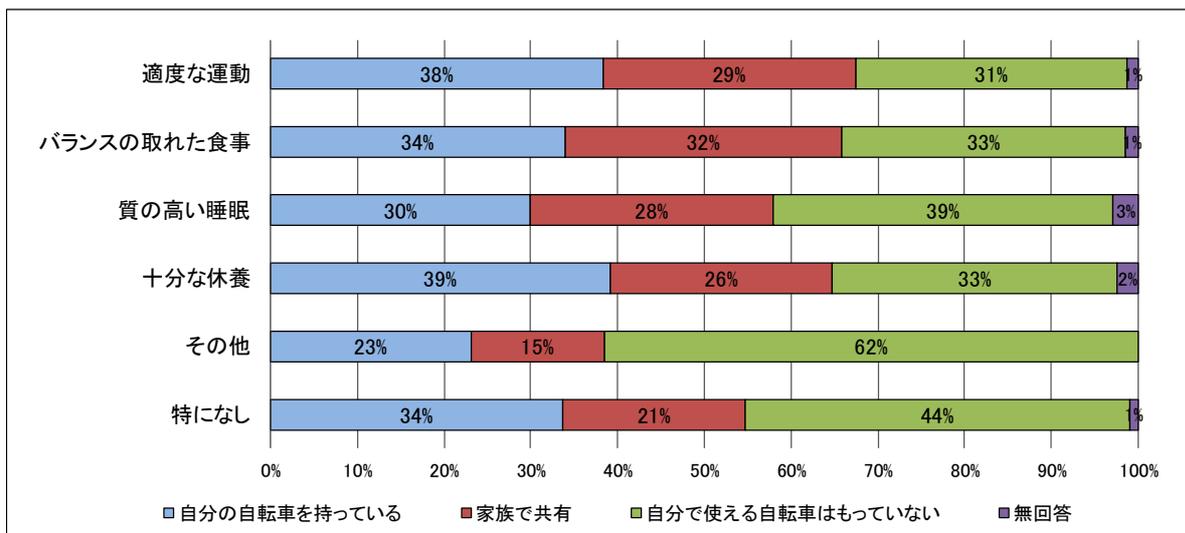


【問 4】 自転車の保有状況について

・自転車の保有状況は、「自分の自転車を持っている」、「自分で使える自転車は持っていない」が 35%と多く、「家族で共有」が 28%となっている。

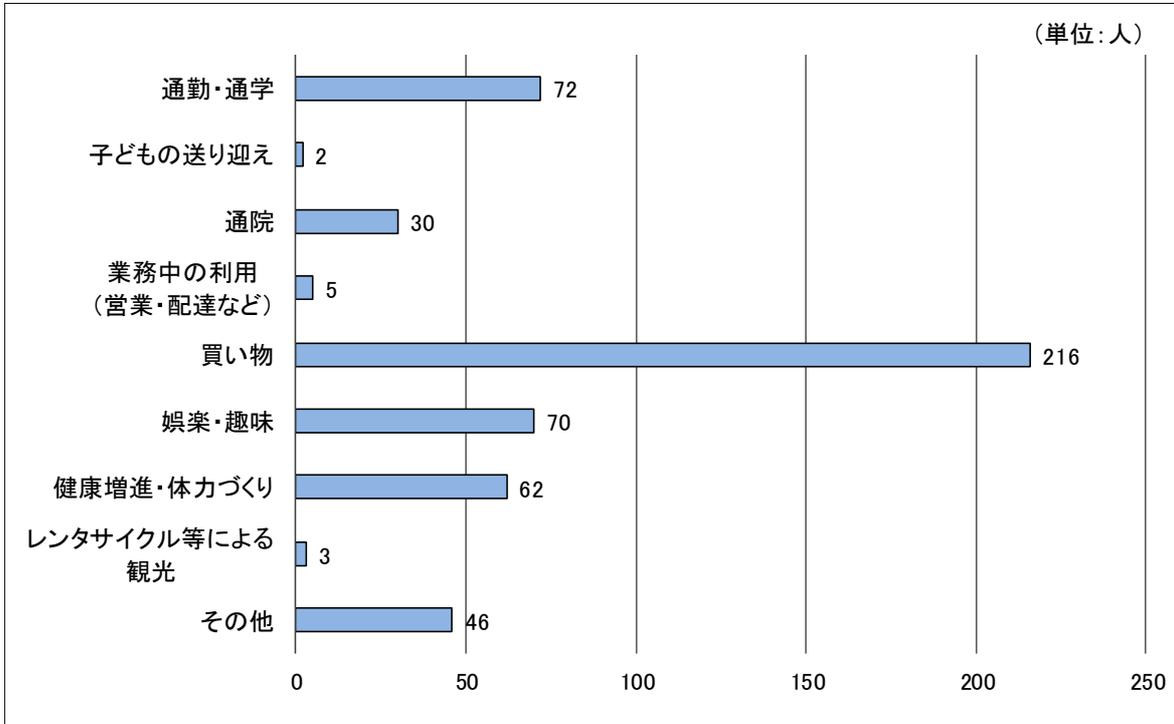


【健康のために心がけていること×自転車の保有状況】

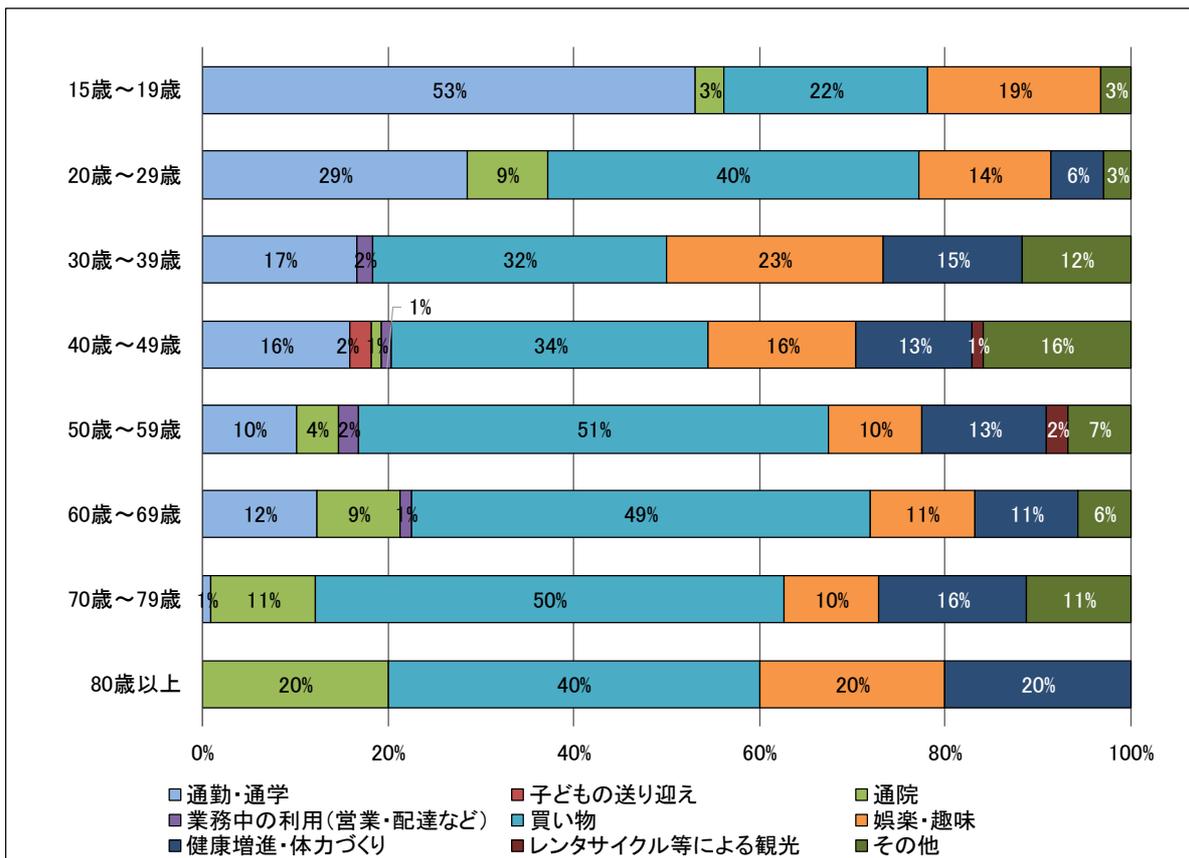


【問5】自転車の利用目的について（※複数回答可）

- ・自転車の利用目的については、「買い物」が216人と最も多く、次いで「通勤・通学」が72人となっている。



【年齢別×自転車の利用目的】

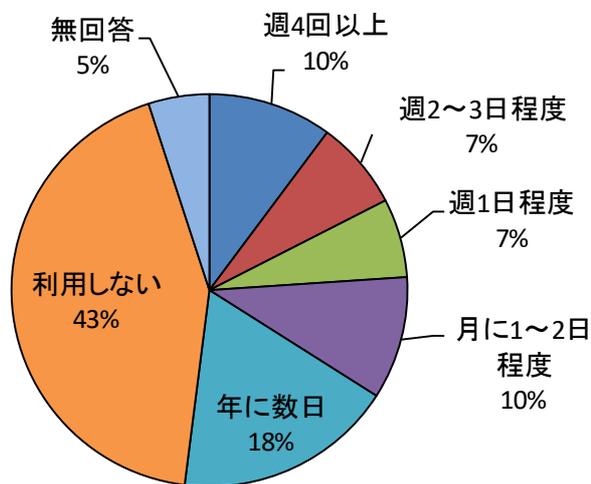


【問6】自転車の利用頻度について

・自転車の利用頻度については、「利用しない」が43%と最も多く、次いで「年に数日」が18%となっている。

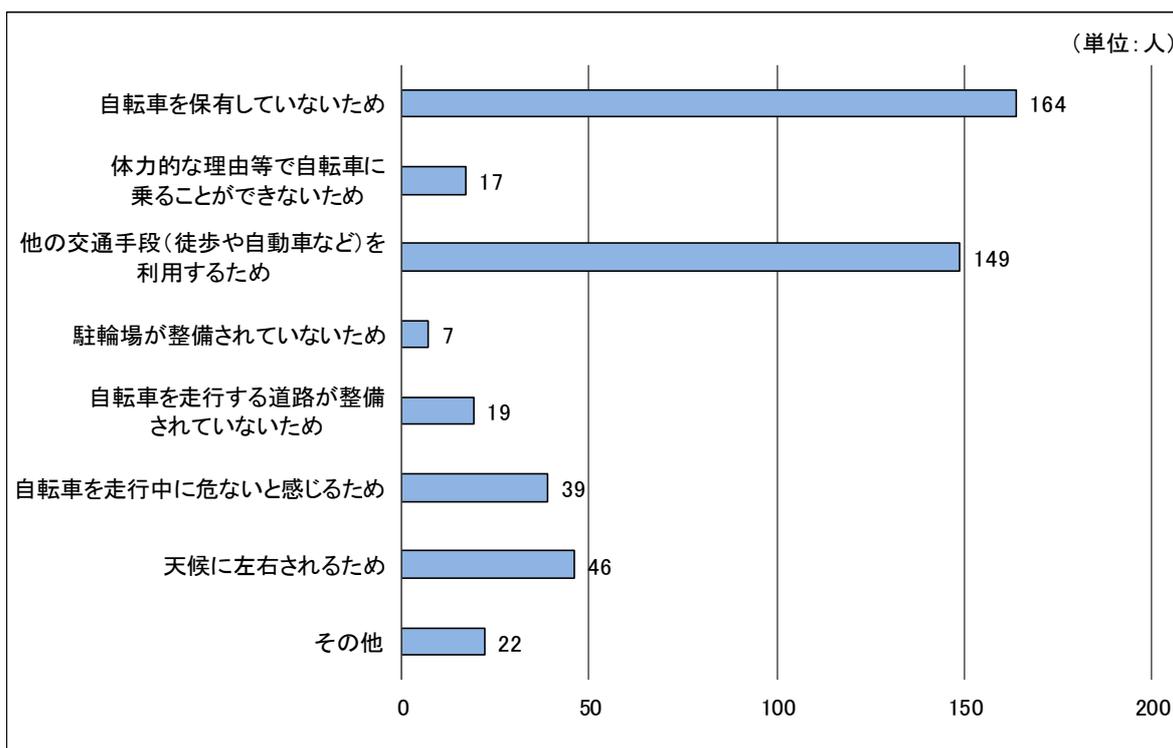
(単位:人)

選択項目	人数
週4回以上	61
週2~3日程度	44
週1日程度	39
月に1~2日程度	61
年に数日	108
利用しない	259
無回答	30
計	602



【問7】自転車の利用しない理由について（※複数回答可）

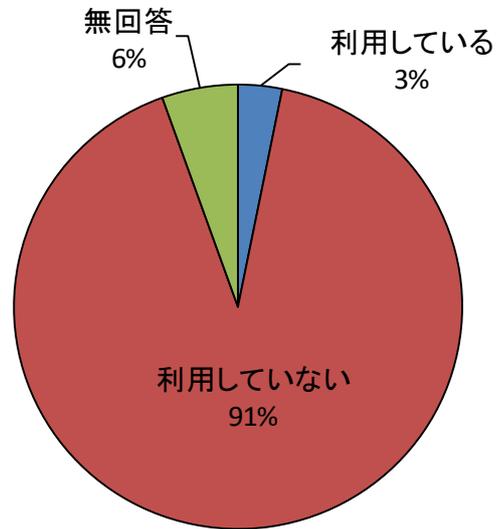
・自転車の利用しない理由については、「自転車を保有していないため」が164人と最も多く、次いで「他の交通手段(徒歩や自動車など)を利用するため」が149人となっている。



【問8】 冬季の自転車利用について

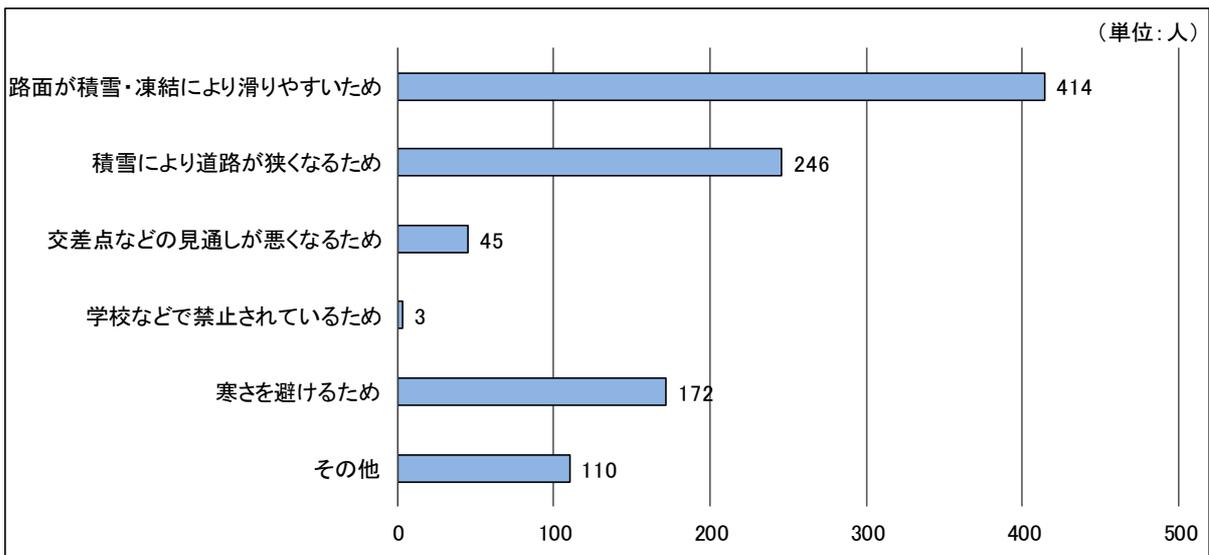
・冬季の自転車利用については、「利用している」が3%、「利用していない」が91%となっている。

(単位:人)	
選択項目	人数
利用している	19
利用していない	550
無回答	33
計	602



【問9】 冬季に自転車を利用しない理由について（※複数回答可）

・冬季に自転車を利用しない理由については、「路面が積雪・凍結により滑りやすくなるため」が414人と最も多く、次いで「積雪により道路が狭くなるため」が246人となっている。

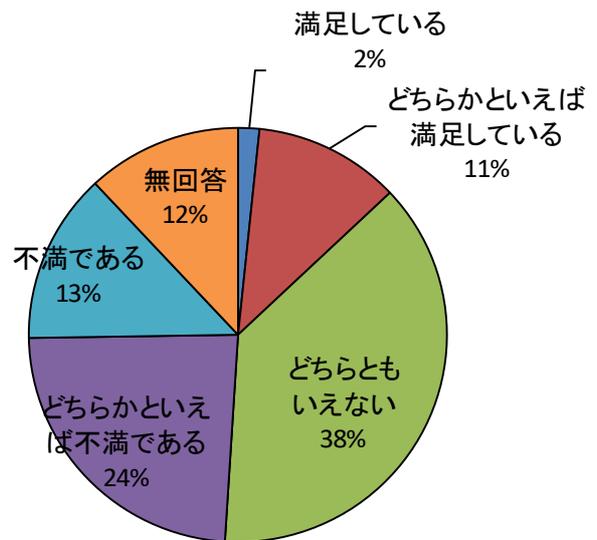


【問10】 自転車の走行環境の満足度について

・自転車の走行環境の満足度については、「不満である」が 13%、「どちらかといえは不満である」が 24%と高く、「満足している」が 2%、「どちらかといえは満足している」が 11%であり、満足に比べて不満と感じている回答が 3 倍程度となっている。

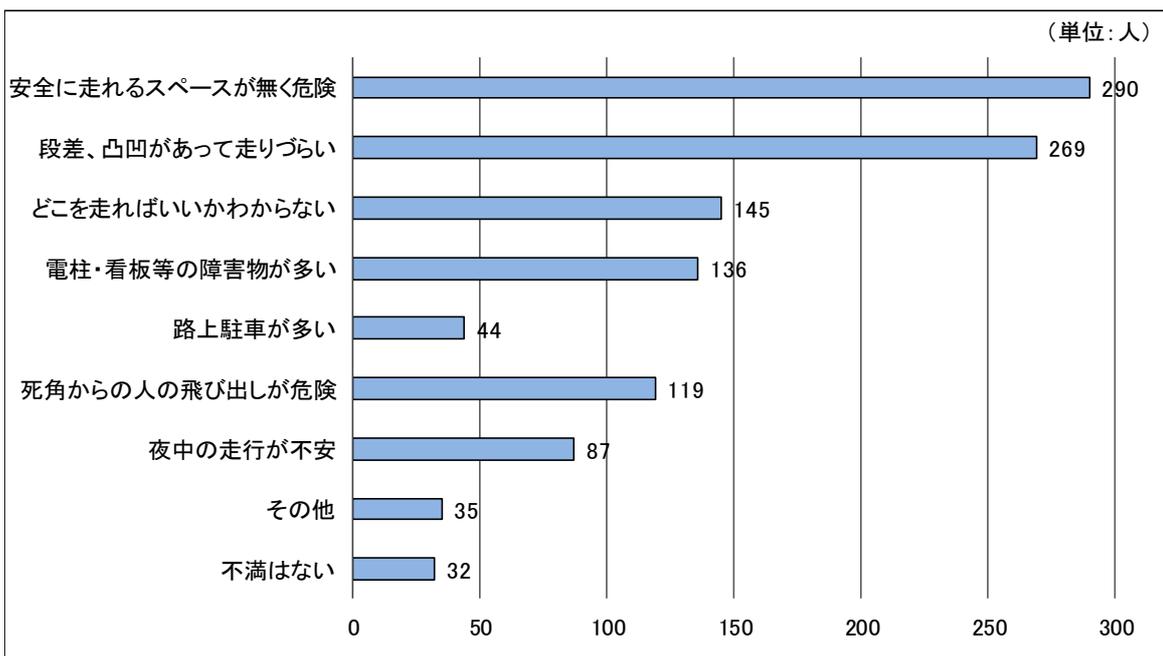
(単位:人)

選択項目	人数
満足している	10
どちらかといえは満足している	68
どちらともいえない	229
どちらかといえは不満である	143
不満である	80
無回答	72
計	602



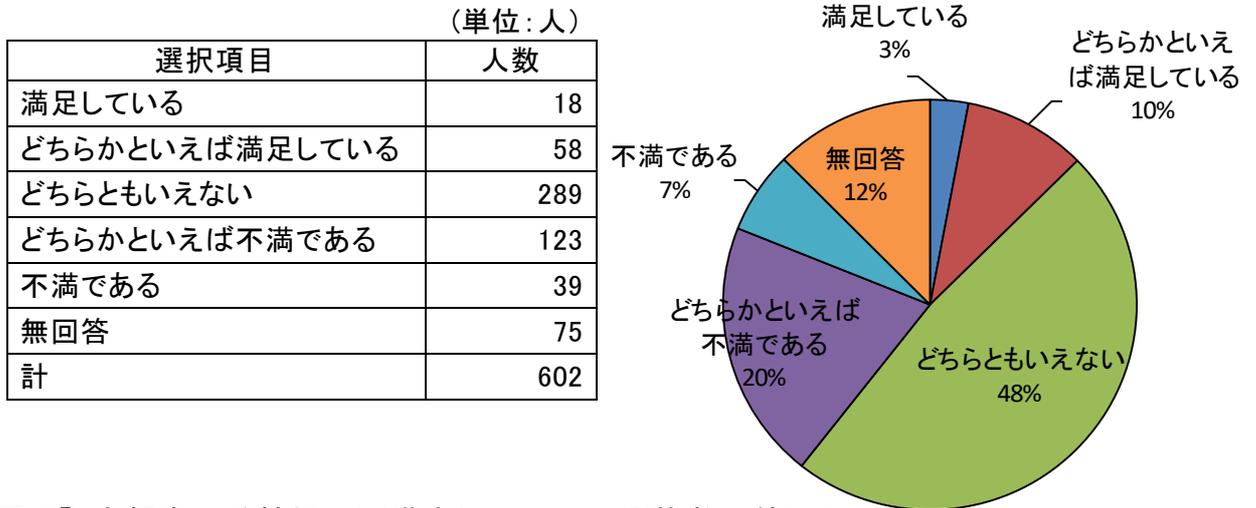
【問11】 自転車の走行環境の不満点について (※複数回答可)

・自転車の走行環境の不満点については、「安全に走れるスペースが無く危険」が 290 人と最も多く、次いで「段差、凹凸があって走りづらい」が 269 人となっている。



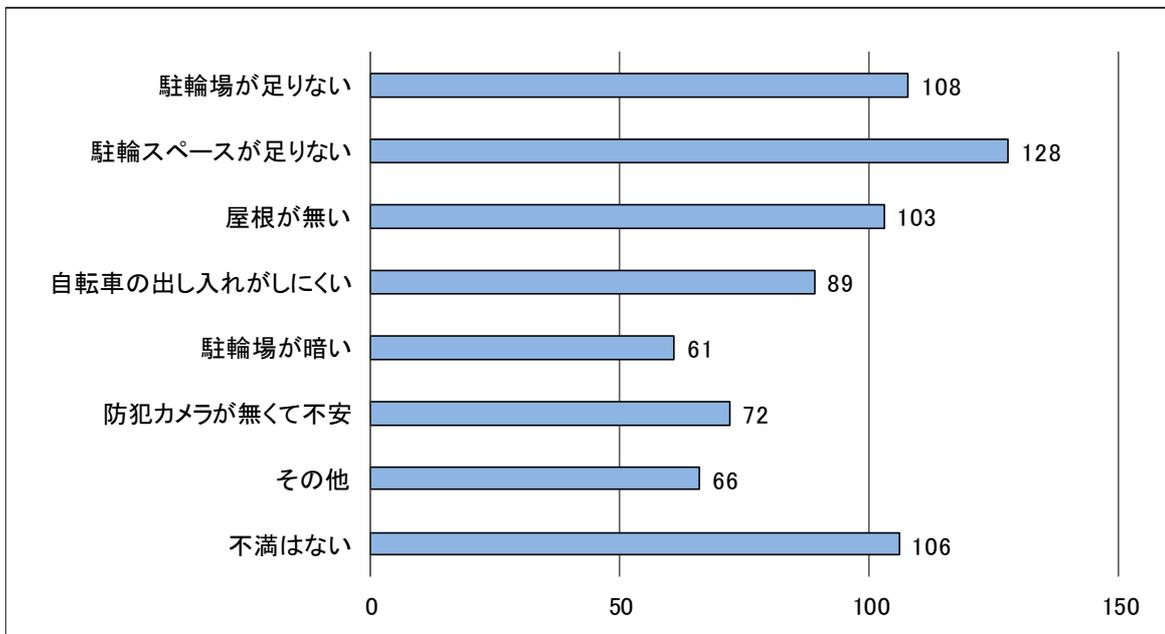
【問12】 自転車の駐輪環境の満足度について

- ・自転車の駐輪環境の満足度について、「不満である」が7%、「どちらかといえば不満である」が20%と高く、「満足している」が3%、「どちらかといえば満足している」が10%であり、満足に比べて不満と感じている回答が2倍程度となっている。



【問13】 自転車の駐輪場の不満点について（※複数回答可）

- ・自転車の駐輪場の不満点について、「駐輪スペースが足りない」が128人と最も多く、次いで「不満はない」が106人となっている。



【問10～問13の考察】

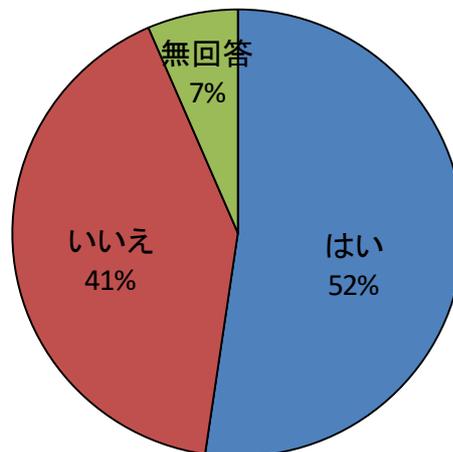
- ・自転車の走行環境については、安全に走れる空間がないとの意見が多い。
- ・駐輪環境については、駐輪場の設置箇所や収容台数への不満が多い。

【問14】サイクリングモデルコースの利用意向について

・サイクリングモデルコースの利用意向について、「はい」が 52%、「いいえ」が 41% となっている。

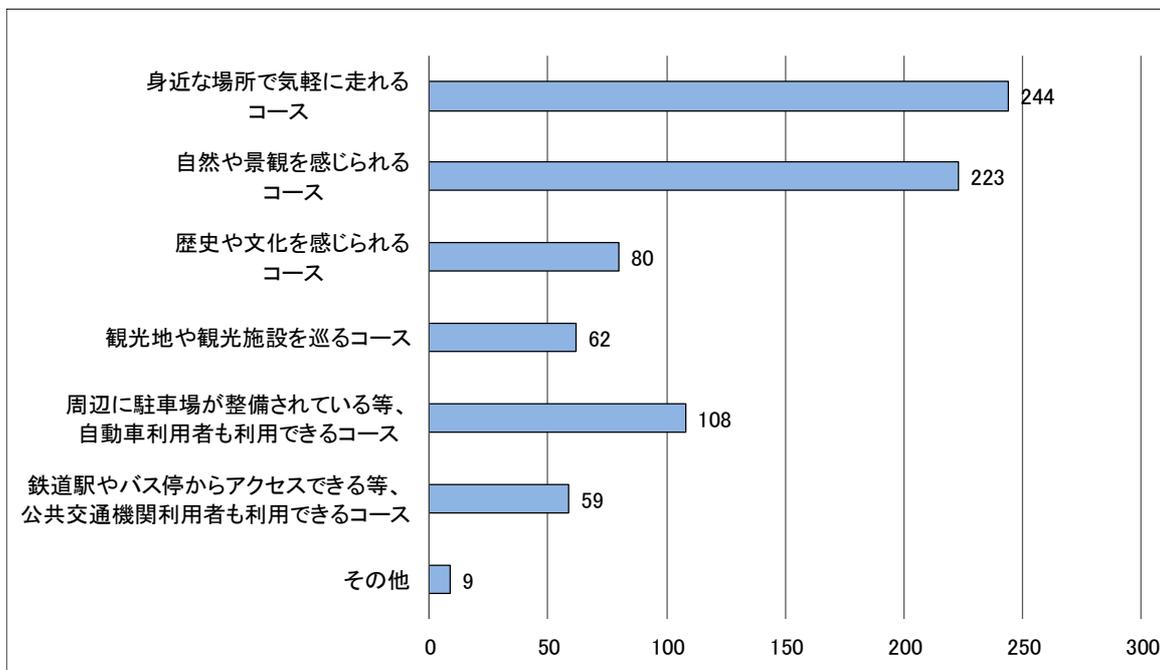
(単位:人)

選択項目	人数
はい	315
いいえ	248
無回答	39
計	602



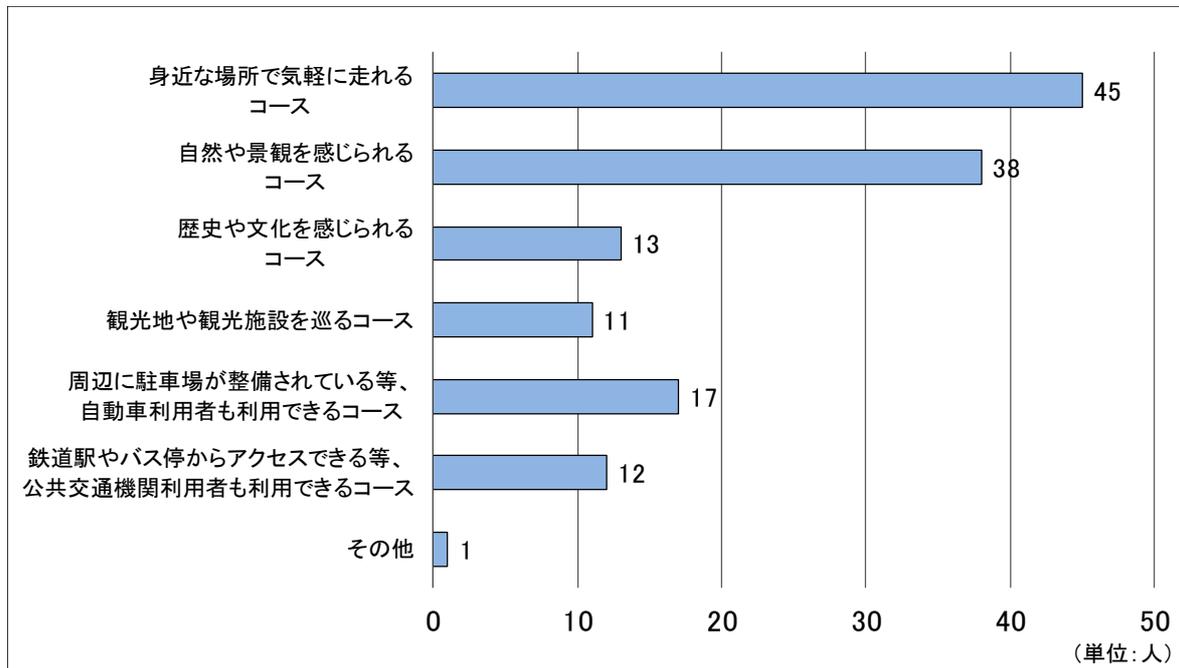
【問15 (1)】サイクリングモデルコースの設定方針について (※複数回答可)

・サイクリングモデルコースの設定方針について、「身近な場所で気軽に走れるコース」が 244 人と最も多く、次いで「自然や景観を感じられるコース」が 223 人となっている。



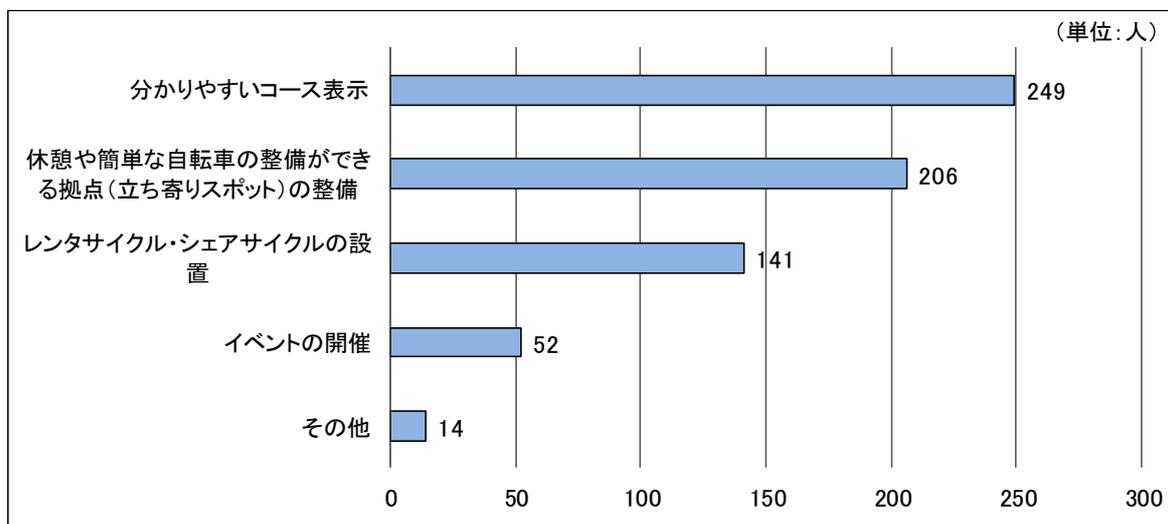
【自転車の利用目的（健康増進・体づくり）】

×サイクリングモデルコースの設定方針】



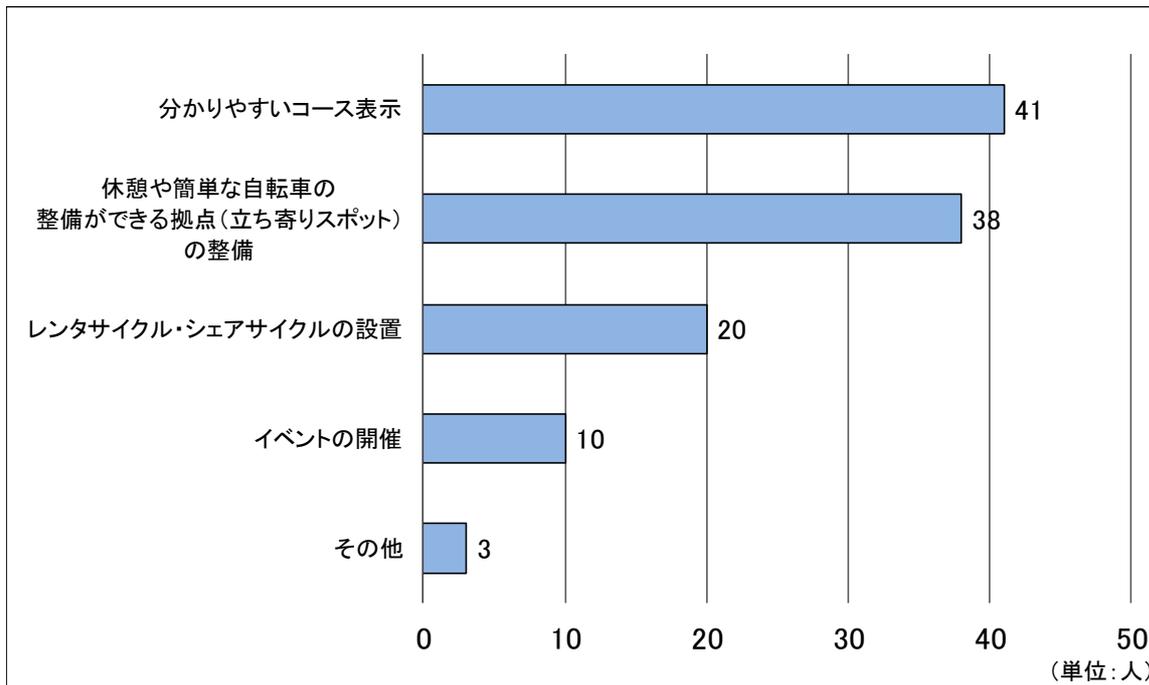
【問15 (2)】サイクリングモデルコースに必要な工夫について（※複数回答可）

- ・サイクリングモデルコースに必要な工夫について、「分かりやすいコース表示」が249人と最も多く、次いで「休憩や簡単な自転車の整備ができる拠点(立ち寄りスポット)の整備」が206人となっているとなっている。



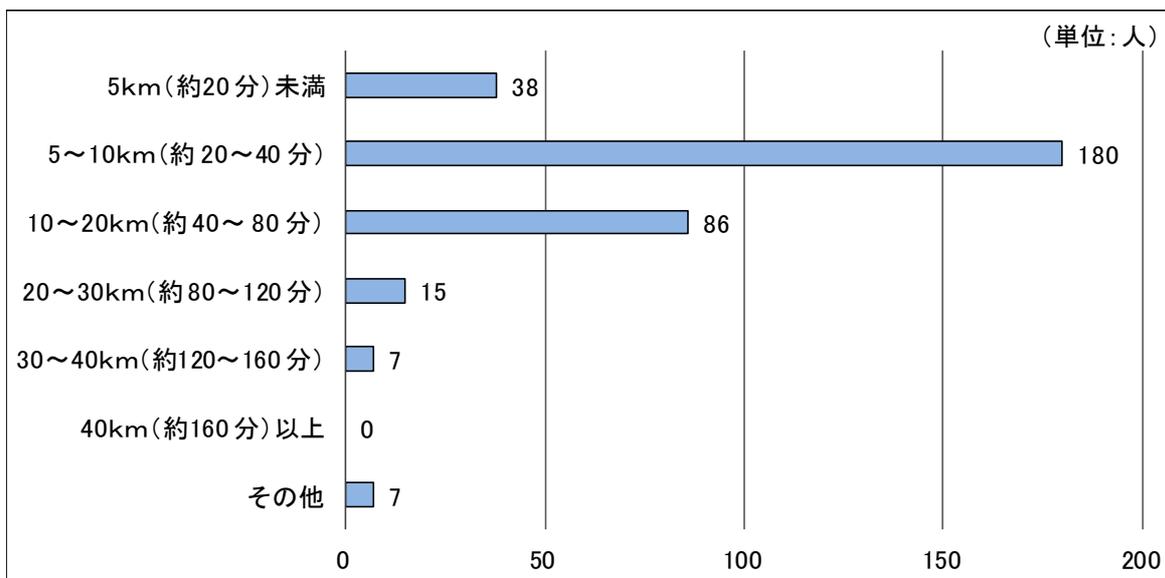
【自転車の利用目的（健康増進・体づくり）】

×サイクリングモデルコースに必要な工夫】



【問15 (3)】サイクリングモデルコースの距離について

・サイクリングモデルコースの距離について、「5～10km(約 20～40 分)」が 180 人と最も多く、次いで「10～20km(約 40～ 80 分)」が 86 人となっている。



【問14～問15の考察】

- ・サイクリングモデルコースの利用意欲は高く、「身近な場所」「自然や景観を感じられる」といった市民ニーズに応えられるコース設定が必要である。
- ・案内サインや拠点を整備することで、利用促進効果が得られる。
- ・20分～40分程度の軽い運動効果が求められている。

3. 山形市ウォーキングロード及びサイクリングロード整備 計画策定検討会議構成員一覧

区分	氏名	所属	備考
学識経験者	高澤 山美	山形大学大学院 理工学研究科 助教	座長
関係団体	大嶋 民代	山形市健康づくり運動普及推進協議会 副会長	
	三澤 良次	山形市レクリエーション協会監事 山形走ろう会 会長	
	金森 智	ジャパンエコトラック推進協議会事務局 株式会社モンベル広報部課長	
	石井 環	山形県スケート連盟 事務局長	
交通事業者	日下 和利	東日本旅客鉄道株式会社 山形駅 副駅長	
	寒河江 晃一	山交バス株式会社 営業部 乗合課次長	
行政機関	舟山 太郎	国土交通省東北地方整備局	
	佐藤 寛之	山形河川国道事務所 交通対策課長	令和3年度より 舟山氏に代わり就任
	高宮 篤	山形県村山総合支庁	
	平山 直人	建設部 道路課課長	令和3年度より 高宮氏に代わり就任
	山村 浩志	山形警察署	
	渡辺 彰人	交通第一課長	令和3年度より 山村氏に代わり就任